

ハ行

ハ

若柴言葉	アルベキスガタ	解説・用例・その他
ハア	モウ	もはや、すでに、やがて、間もなく、この上に、更に、など色々に使われる。
ペア	パス(メンコ)	メンコは江戸時代に作られた子どもたちの遊戯具で、薄い土焼きの七福神などの小さな「面(めん)」である。明治になって四角い紙製になった。 一方、入場券や乗車券などをパス(外来語)というが、それに似た四角い厚紙製品をパスと言うものと思いつくようになった。 そのためメンコのこともパス(→ペア)と言うようになった。
ハアエダ	...	女の子らがいやなことを言われたときに、囃し返す言葉。
ハガジ	ムカデ	百足(むかで)
ハグンダ	ハクノダ	履くのだ。「デジニ、ハグンダド(大事に履くのだぞ)」
バゲル	アマツタレル	甘ったれる
パゴ	...	二人組で遊戯をする時など、一人残ったものを言う。
ハゴル	ハグル	し損なう。(=はぐる)「汽車に乗りハゴツタガラ、歩ギダ(汽車に乗り損ねたから歩きだ)」
ハシャツタ	ハジマツタ	始まった
ハズ	ヤクソク	約束の意味に用いる「Aとエグハズしてアンダ(Aと行く約束しているんだ)」
ハダガメえボロ	ナメクジ	なめくじ。めえぼろは蝸牛(かたつむり)。殻がないので、裸の蝸牛と見立ててこう言った。
ハダガル	ヒロガル	立ち広がる。「エガエオドゴ、メえサハダガツデエデ、通れネエンダモノ、ショウアンメえ(大きな男が前に立ちはだかっている、通れないんだもの、しょうがないだろう)」
ハダゲル	ヒロゲル	広げる。「アツガッペえ、メえハダゲデ涼め(暑いだろう。[着物の]前を広げて涼め)」
ハダズ	ハジマル	始まる。「ハヤグエゲヨ。シバエ、ハダズド(早く行けよ。芝居が始まるぞ)」
バツカ	ボツカ	棒。棒を「ボツカ」と言う。
ハツケエ	ツメタイ	冷たい。「ヒヤッコイ」の訛り。「ハツケエ水、飲みデえナ(冷たい水を飲みたいな)」
バツタ	ニワトリ	鶏
ハネエル	シカケル	仕掛ける、準備する。「機械ハネエデ、待つてっから、その麦の車ヒデキテクロ(機械を準備して待っているから、その麦を載せた車を引いてきてくれ)」

ハバカリ	ベンジョ	便所の隠語。
ハンミチ	ハンミチ	半道(はんみち)。一里(約4キロメートル)の半分。

ヒ ※「ヒ」が「シ」と訛るものが少しある。例・人(ひと)→「シト」

若柴言葉	アルベキスガタ	解説・用例・その他
ヒザッカブ	ヒザガシラ	膝頭(ひざがしら)
ヒシテ	イチニチ	一日。「日一日(ヒヒトヒ)」=「ヒヒテ」の訛り。「アドヒシテでサナブリにナレベエ(あと一日でサナブリ[田植えを終えた後の祝い]にできるだろう)」
ビダグラ	アグラ	あぐら, 安座。
ビダズゲル	ナゲタオス	投げ倒す。「アドBD, スモトツテ, AはBにビダズゲラツタンダツケ(AとBとで相撲をとって, AはBに投げ倒されたんだって)」
ヒダリッコギ	ヒダリキキ	左利き。「左甚五郎はヒダリッコギダド(左甚五郎は左利きだぞ)」
ヒッタグル	ウバウ	奪う, 強奪する。「シツタグル」とも。「Aヤロニ, シツタグラツチャッタ(Aの奴に奪われてしまった)」
ピッチカル	スワル	座る。「コゴサ, ピッチガツテロ(ここに座っている)」
ヒ(シ)ツツアバゲル	サケル	裂ける, 引き裂ける, 破れる。「着物のケツウ, ヒツツアバゲツチャッタノ, 着てネエで, ベツナント, トツケエロ(着物の尻が破れちゃった物を着ていないで, 別の物と取り替える)」
ヒデッポシ	ヒデ	松の幹や根に樹脂の溜まったもの。良く燃えるので, かがり火の燃料にした。
ヒ(シ)トガダギ	ヒトカタケ	一回の食事。「ヒトカタケ」は「一片食」。「シトガダギクレエ, カネエでも, 我慢デギルヨ(一食くらい食わなくても我慢できるよ)」
ヒドロップエ ヒドロツペエ	マブシイ	眩しい。「ヒドロツポクテ, オテントサマ, 見デランネエナ(眩しくて太陽を見ていられない)」
ヒヤグ	ヒシャク	柄杓(ひしゃく)の訛り。「ソゴノヒヤグ, 取ってクロ(その柄杓を取ってくれ)」
ヒョウゴ	ヒョウグ	表具(ひょうぐ)。*布や紙を張って作られた掛け軸やふすま等の物をいう
ビョウツタレ	ビョウキガチ	病気がち, 体が弱い。
ヒヨッコ	ヒヨコ	ひよこ, 雛鳥。ヒヨッコ箱, コセデンノカ(雛鳥の箱を作っているのか)」
ヒヨゴル	ヒヨグル	迸る(ほとばしる), 水などが勢い良く棒状になって出ること。*「ヒヨグル」という言葉は十返舎一九の『東海道中膝栗毛』の中にも「馬が小便をひよぐらして」と出ている。

フ

若柴言葉	アルベキスガタ	解説・用例・その他
フエトロ	ホイッスル	汽車の汽笛のこと。whistle(ホイッスル)の訛り。
ブグジネえ	ブカッコウ	不格好(ぶかっこう), 格好悪い。「カッコエエ」の反対。
フグス	ホグス	解す(ほぐす), 分解する。「タエヘンダナア, 屋根フグシデ(屋根を分解して大変だな)」
フケル	...	畳などが湿気で湿って発酵し, 材質が変化したこと。物を蒸かした(ふかした)のに似ているから言う。また「フケル」には, 「化ける」の意味がある。「老ける(ふける)」でもある。
フスクレテル	ハラヲタタテル	腹を立てている。* 怒りを内向して持っていて, 態度に表現する様子。
フズニ	フウニ	ふうに。「コンナフズニ, コセエデクロ(こんなふうに作ってくれ)」
フタグ	フサグ	塞ぐ(ふさぐ)。少数の者が言った。「蓋(ふた)ぐ」か, 蓋をすれば塞がるということが混同しているようだ。
ブツ	ウツ	うつ(撃つ・打つ)。「オラエノ, アンチャン, 雉ブツて来たド(俺の家の兄ちゃん, 雉を撃って来たぞ)」「ソゴサ, 釘ブツテクロ(そこへ釘を打ってくれ)」
プックジグド	ウチクジグゾ	打ち挫く(くじく)ぞ。* 喧嘩のときや叱るとき等相手が恐れるように言う。
プックラセット	ウツゾ	打つぞ, 叩くぞ。* 「ウチクラワセルゾ」を強く感じるように発言。
プックレ	コワレモノ	壊れ物
プッタギル	キル	切る。接頭語をつけて意味を強めた。
フットバス	トバス	自転車などを速く走らせる, 飛ばす。速く走る時, 駆け足で行く時などには, 「フットバンテ, エツケル」等という。* また別に, 「吹き飛ばす」意味にも使う。
プットバス	ナグル	殴る。「Aはナ, Bゴド, バガンシタラ, Bラエノアンニニ, プットバサッチャタンダツチケ(Aはな, Bのことを馬鹿にしたら, Bの家の兄に, 殴られちゃったんだそうだ)」
ブドゲル	フヤケル	(水に潤って)ふやける, だらける。「ハヤグ, カネエド, うどんブドケツチャアド(早く食わないと, うどんがふやけてしまうぞ)」
フルヂボオ	...	竹の柄の先に, 90センチ程の木の棒を, 柄を上下して回転するように取り付けた農具。木の棒の回転を利用して, 地面に置いた稲・麦・豆などの作物に平らに打ちつけ, 穂から実を落とすのに使う。(= 穀竿[からざお], クルリ棒のこと)
フヌギ	フミヌキ	踏み抜き, 尖っている物を踏んで足の裏に突き刺して怪我をすること。「フヌギシチャッテ, エダクテ(踏み抜きをしまって, 痛くて)」

フンバダガル	フミヒロガル	踏み広がる。「ジャマダナ、ソゴサ、フンバダガッテデ、シャレ(邪魔だな、そこに踏み広がっていて。どけ)」
フンブセル	クミフセル	組み伏せる。「Aはあのエエガエヤロゴド、フンブセツチャッタンダド(Aはあの大きい奴のことを、組み伏せてしまったんだそうだ)」
ブンマァシ	コンパス	ぶんまわし(=コンパス)。回して丸を描くから言う。

へ

若柴言葉	アルベキスガタ	解説・用例・その他
へえ	ハイ	灰
ベエ	ベシ	「べし」の訛りで、意思を表す、推量する、勧誘する、当然であるなどに使われる。べ、ぺ、へ、と変わる。
へえツクバル	ハイツクバウ	這い蹲う(はいつくぼう)、うずくまる。「シャモド喧嘩してマゲダ、オンドリメ、クネントゴサ、へえツクバッチャッタ(シャモと喧嘩して負けた雄鶏が、垣根の所にうずくまっちゃった)」
へえメ	ハエ	蠅。「メ」は動物に付ける。(例・牛メ、馬メ、犬メ、猫メ、ドジョメ、虫メ、等)
へくサムシ	カメムシ	カメムシ。1センチ位の悪臭を発する虫。
へゲ	ヒゲ	ひげ、くちひげ、ほほひげ、あごひげ
ぺゲ	ぺケ	ぺケ。「だめ」の意味に多く使われる。他に「いけない」「気に入らない」等がある。「コンナノ、ぺゲダッペナ(こんなのだめだろうな)」*元はpergi(あっちへ行け)というマレー語と言われる。
へズル(へズラレル)	へラス(へラサレル)	減らす。「りんご2つ、へズラッチャッタ(りんご2つ減らされちゃった)」*「減らす」と言う意味の「へす」と言う言葉がある。「へズル」はこの「へす」と「削る」の混成ではなかろうか。
へっポゴ(へっプグ)	へボ	「へボ」は技がまずい、果物等の出来が悪いこと。へボからへっポゴ、へっプグと訛ると考えられる。*へボは平凡の訛りと言われている。
へナ	ネンド	粘土
ペロリ	...	たちまち

ホ

若柴言葉	アルベキスガタ	解説・用例・その他
ホオガァ	ソウカ	そうか。全部ではないが、このように訛る人がいる。「ああそうか」が「アアホオガ」などとなる。
ホオタブラ	ホツペタ	ほつぺた、頬のあたり。*タブラは不詳。
ホオジョ	ナタ	鉞(なた)。色々ある包丁の内、鉞だけを「ホウチョウ」と呼び、それが訛った。

ホオロギ	フルイ	篩(ふるい)。穀類をより分けたり, 混じった雑物を取り除く道具。
ホオログ	フルウ	篩う(ふるう)。上記の篩を使う動作。
ホギル	オキル	起きる, 炭火などが盛んに燃える, 作物や草などが盛んに成長する。
ボグ	ブク	近親者が亡くなった場合, 一年間神様の前に出たり神様の行事に参加したりしない, という当地方のしきたり。忌服(きぶく)の「ぶく」の訛ったものと思われる。
ホゴス	オコス	起こす。火などを燃えさせる。作物の場合は「ホガス」と言う。
ホシクソ	リュウセイ	流星。「ホシクソ, ケネえウジニ, ネガエゴドスツ, カナアチケド(流れ星が消える前に, 願い事をするとかなうそうだよ)」
ボダン	ボタン	釦([機械・服の]ボタン)
ホマチ	ホマチ	帆待ち(江戸時代に荷物を運ぶ船の船乗りが契約外の荷物を載せて収入を得ていたこと。そこから転じて), 内緒の収入。「ソナニ銭使って, ホマチでもアンノガ(そんなに金を使って。内緒の収入でもあるのか)」
ホンキンダシテ	ホンキニナツテ	本気になって, 手加減しないで。「ホンキンダシテやれば, アエズラナントニ, マゲルモンカ(本気になってやれば, あいつらなんか負けるものか)」
ボンボチッコ	キュウケイノモノ	球形のもの。
ホネダ	ホネガオレル	「骨が折れる(困難である, 労力を要する)」の省略

※赤字の部分は生涯学習課が追加しました。